

平成 26 年度第 2 回普及に移す農業技術・試行技術（技術項目及び要約のみ）

番号	技術項目 要 約	担当場・部
1	<p><b>条間 30 cmのドリル播きそば栽培の「信濃 1 号」の播種量は 3.1kg/10a でこれまでの栽培指針の 4～6kg/10a と同程度の収量が得られる</b></p> <p>[要約] 条間 30cm のドリル播きそば栽培は、播種量を「信濃 1 号」は 3.1kg/10a、「タチアカネ」は 3.2kg/10a、「長野 S 8 号」は 3.6kg/10a まで減らしても、現行基準の 4.0～6.0kg/10a と同程度の収量が得られる。</p>	野花試畑作部
2	<p><b>機能性成分「スルフォラファングルコシノレート」高含有青汁用ケール F1 品種「ハイパール」の栽培マニュアル (Ver. 1) (県内限定)</b></p>	
3	<p><b>トルコギキョウの抑制作型では、10～12 週間冷房育苗した節間伸長苗の定植により、到花日数を短縮できる</b></p> <p>[要約] トルコギキョウの 11 月以降の開化作型では、慣行の本葉 2 対葉展開期の苗よりも冷房育苗日数が長い節間伸長苗を定植すると、慣行苗と同程度の切り花品質を確保しつつ到花日数の短縮が可能である。</p>	野花試花き部、美しい信州の花推進部会長野地方部
4	<p><b>肥育後期豚に飼料米を 50% 配合した低リジン飼料を給与すると、ロース肉の脂肪含量および脂肪のオレイン酸割合が高い豚肉ができる</b></p> <p>[要約] 肥育後期豚に、飼料用米を 50% 配合し、リジン含量が要求量の 80% となるように乾燥トウフ粕の割合を調整した低蛋白飼料を給与すると、市販飼料を給与した場合と比較してロース肉の脂肪含量が増加し、脂肪中のオレイン酸割合も増加する傾向がある。</p>	畜試養豚養鶏部
5	<p><b>「コシヒカリ」の白未熟粒は穂肥を 1～2 週間遅らせることにより発生率が低減できる</b></p> <p>[要約] 「コシヒカリ」において出穂後の高温により発生する白未熟粒は穂肥を 1～2 週間遅らせることにより発生率が低減できる。</p>	農試環境部
6	<p><b>イネいもち病の穂いもち防除要否判断のための目安</b></p> <p>イネいもち病（穂いもち）の防除において、「穂いもちの防除要否の判断を支援するフローチャート（暫定版）」は防除要否の判断を支援する。本フローチャートの適用品種は「コシヒカリ」とする。</p>	農試環境部

※普及に移す農業技術のうち試行技術は、農業関係試験場で育成、開発又は実証され、農業発展に寄与する技術及び情報のうち普及技術とするにはまだ未解決の部分があつて適当でないもの、おおむね生産技術の向上に役立ち、試行する価値があるものです。

毎年、10 月と 2 月に普及技術検討会で審査され、公表されます。試行技術の詳細については、お近くの農業改良普及センターへお問い合わせください。

**農業改良普及センター一覧**

普及センター名	所在地	電話番号
佐久農業改良普及センター	佐久市大字跡部 65-1 佐久合同庁舎内	0267-63-3146
上小農業改良普及センター	上田市材木町 1-2-6 上田合同庁舎内	0268-25-7157
諏訪農業改良普及センター	諏訪市川上 1-1644-10 諏訪合同庁舎内	0266-57-2932
上伊那農業改良普及センター	伊那市大字伊那 3497 伊那合同庁舎内	0265-76-6842
下伊那農業改良普及センター	飯田市追手町 2-678 飯田合同庁舎内	0265-53-0436
木曾農業改良普及センター	木曾郡木曾町福島 2757-1 木曾合同庁舎内	0264-25-2230

松本農業改良普及センター	松本市大字島立 1020 松本合同庁舎内	0263-40-1947
北安曇農業改良普及センター	大町市大字大町 1058-2 大町合同庁舎内	0261-23-6543
長野農業改良普及センター	長野市大字南長野南県町 686-1 長野合同庁舎内	026-234-9534
北信農業改良普及センター	中野市大字壁田 955 北信合同庁舎内	0269-23-0221